

第3学年 音楽科学習指導案

日 時 平成20年10月9日（木）公開授業Ⅱ

場 所 久慈市立侍浜中学校 音楽室

生 徒 3年B組（男子10名、女子12名 計22名）

授業者 教諭 菅原美智子

1 題材名 「合唱の表現を楽しもう」～混声三部合唱曲 COSMOS～

2 題材について

本題材は、「合唱表現を楽しもう」である。「COSMOS」は、混声3部合唱曲で、宇宙の歴史に眼をけた歌詞の内容や旋律の動きからイメージを膨らませることができる曲である。さらに、中間部からはビート感が強まることで、声を出すことの気持ちよさを学習することができる。そのため、表現の工夫がしやすく歌うことを楽しむことができる合唱曲である。

3 生徒について

本学級の生徒は、基本的に素直でやさしい。音楽の授業でも、教師やリーダーの指示に従い協力して取り組み、課題を解決しようと真剣に学習しているものの、声を出すことに抵抗感を持ち、あいさつや合唱など表現活動を苦手とする生徒が多いと思われる。

4 指導について

声を合わせることで表現する合唱は、一人では出来ない音楽活動の一つである。「声」は、一生使うことのできる表現媒体であり、相手（聞き手）に自分の思いや考えを伝える重要な手段の一つとして、実生活を営む上で欠かせないものであると考える。そういった意味で、キャリア教育の視点で見れば、「コミュニケーション能力」と密接につながっている。

したがって本時は、「声を相手に伝える」ためにも *ff* で歌うことを目標とし、ブレスの入れ方やブレスを出し切る（使い切る）練習を行いたい。具体的には、パート練習の場面で、お互いのブレスについて評価し合いながら「コミュニケーション能力」を高めていきたい。

5 題材の指導目標

〈意欲・関心・態度〉

合唱の多様性に関心を持ち、意欲的に表現・鑑賞しようとしている。

〈表現の工夫〉

曲種に応じた表現方法を感じ取り、曲にふさわしい歌唱表現を工夫している。

〈表現の技能〉

曲の特徴を理解し曲にふさわしい歌唱表現をすることができる。

〈鑑賞の能力〉

合唱とそれを取り巻く文化などとの関わりを意識して、総合的に鑑賞することができる。

6 指導計画（8時間）及び評価規準

時間	学 習 内 容	評 価 規 準
1	楽譜を見ながら鑑賞し、曲の雰囲気をつかむ。	<p>〈関心〉歌詞の内容から、イメージを持ち意欲的に聞こうとしているか。</p> <p>〈工夫〉各パートの特徴を感じ取ることができる。</p> <p>〈鑑賞〉合唱の多様性に関心を持ち、意欲的に鑑賞することができる。</p>
3	パート練習で音を覚える。	<p>〈意欲〉合唱の多様性に関心を持ち、意欲的に表現しようとしている。</p> <p>〈技能〉曲の特徴を理解し曲にふさわしい歌唱表現をすることができる。</p>
1	強弱の変化を感じ取って表現を工夫する。 (本時)	<p>〈技能〉歌詞の内容を理解し、強弱の変化にあった歌唱表現の技術を身につけることができる。</p> <p>〈工夫〉曲にふさわしい歌唱表現を工夫することができる。 曲にふさわしい強弱を表現できる。</p>
1	発表会・録音をし、つまづき箇所を確認・練習する。	<p>〈意欲〉つまづき箇所を練習し、曲にふさわしい歌唱表現を意欲的にしようとしている。</p> <p>〈鑑賞〉仲間の演奏を鑑賞し求める表現へ近づけるように鑑賞する。</p>
2	求める演奏に近づけるためにくり返し練習する。	<p>〈意欲〉曲にふさわしい歌唱表現を意欲的にしようとしている。</p> <p>〈工夫〉合唱の響きの特徴をとらえ、その良さや特質に関心を持って、曲にふさわしい歌唱表現を工夫することができる</p> <p>〈技能〉合唱の響きの特徴をとらえ、その良さや特質に関心を持って、曲にふさわしい歌唱表現をすることができる。</p>

7 本時の指導

(1) 評価規準（目標）

〈関心・意欲・態度〉

練習に積極的に参加し、より大きな声で歌おうとしている。

〈表現の工夫〉

作曲者の意図を理解し、表現を工夫しようとしている。

〈表現の技能〉

深いブレスでしっかりと支え、歌うことができる。

(2) 展 開

段 階	学 習 内 容	学 習 活 動	○指導上の留意点 ・資料 ☆評価の観点
導 入 10分	1 授業前合唱 2 腹筋の練習 3 前時の確認 4 学習のあゆみ記入	1 生徒指揮者の指示で合唱する。 2 腹筋を意識した発声練習後、 ・細く長い息・ 3 『コスモス』をパートの音付きで合唱する。 前時を振り返り、質問 ・拍子について ・この曲の一番強いと書かれている記号の 読みと意味 ・作曲者が <i>f f</i> を意図する理由を確認する。 4 学習のあゆみの記入	○腹筋を意識して、声 を出すように声かけ する。 ☆〈表現の工夫〉 作曲者の意図を理解 し、表現を工夫しよ うとしている。
展 開 35分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> ブレスを工夫して、ffで歌おう。 </div> 5 学習課題の把握 6 全体練習 7 パート練習 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 【手だて②—A】 「学習内容」が「実生活」で活用されていることに気づかせる </div> 8 発表	5 本時の学習内容の確認をする。 6 ff を出すために必要なブレスを全員で練習 する。 ・1拍で深く吸う練習をする。 ・4拍目で素早く吸って、8拍続けて伸ばす <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 8拍ですべて息を出し切る </div> 【4拍は息（スー）4拍は（アー）】 ・『コスモス』と同じ息づかいです。パートごと に練習し向かいの人が評価しよう。 評価の観点1 【4拍目で素早く吸っているか】 観点2 【8拍の息を使い切っているか】 7 『コスモス』の一部で ff を出す練習をする。	○リーダーの指示で練 習できるよう声かけ する。 【手だて①—A：コミ ュニケーション能 力】 ☆〈意欲〉 練習に積極的に参加 し、より大きな声で 歌おうとしている。 ☆〈表現の技能〉 深いブレスでしっか りと支え、歌うこと ができる。
まとめ 5分	9 全体練習 10 学習のあゆみ記入	9 ff の箇所をしっかりと合唱する。 10 学習のあゆみを記入する。	

(3) 評価規準と具体の評価規準

観点	具体の評価規準		おおむね満足できると判断できる具体的な状況 【B】	「努力を要する」と判断される生徒への支援
	評価規準 (方法)	十分満足できると判断する具体的状況 【A】		
関心 意欲 態度	練習に積極的に参加し、より大きな声で歌おうとしている。(観察・発言・学習シート)	練習内容を工夫し、積極的に参加し、より大きな声で歌おうとしている。	練習に積極的に参加し、より大きな声で歌おうとしている。	仲間・教師といっしょに練習しながら歌うようにする。
表現 の工 夫	作曲者の意図を理解し、表現を工夫しようとしている。(観察・発言・発表)	作曲者の意図を理解し、意欲的に表現を工夫しようとしている。	作曲者の意図を理解し、表現を工夫しようとしている。	教師支援を受けながら、作曲者の考えを理解する。
表現 の技 能	深いブレスでしっかりと支え、歌うことができる。 (観察・発言・発表)	深いブレスでしっかりと支え、大きな声で歌うことができる。	深いブレスでしっかりと支え、歌うことができる。	ゆっくりと練習するように助言する。